



拓殖大学工学部 第12回アイデアのタネコンテスト

ORANGE CUP 2022

あなたが考える、
人間と野生動物とのトラブルをやさしく解決する技術



馬上翔 / 東京都立八王子桑志高等学校

キャッチフレーズ

人間と動物のトラブルを減らそう！

アイデアの説明

『人間と動物の交通事故、ロードキルを減らすための技術とその利用』

人間と野生動物のトラブルの1つ、ロードキルに注目しました。ロードキルとは、人間と動物の間に起きる交通事故のことで、車が破損してしまうことや、人間や動物が死亡してしまうケースもあり、日本国内では2018年には4万7000件発生しています。河川改修や道路建設により動物の生息地を分断し車の通り道を作ってしまったため起こっていると考えられます。



従来の動物との事故を減らす手段を複数組み合わせました。

赤外線センサーは、動物がライトに驚き逃げていくため利用されていましたが、次第に動物がライトに耐性がついてしまい効果が薄れてしまうことが問題点として挙げられています。

そこでカーナビとセンサーを共有し、周辺の動物情報をカーナビにて警告し、作動したセンサーの近くを走る車に動物よけの特殊な警笛が自動で作動する仕組みを取り入れれば、人間と動物のトラブル改善の技術として利用できるのではないかと考えました。

例えば自然の多い森や山中、絶滅危惧種の積極的な保護が必要な地域、動物との接触事故の多い道路など、様々な地域の動物の特性により警笛の音を変えることも可能です。